

Topics of the month

新会社・サステナブルスケールの 考える新たなビジネス

2021年5・6月合併号の
記事はこちら



2021年7月号の
記事はこちら



前号、前々号で今年4月に設立いたしましたSDGs支援会社「サステナブルスケール」をご紹介しました。持続可能な地域社会の実現に向けた同社の取り組みを紹介すべく、7月1日(木)に福岡市中央区大名の「TAP.1 DAIMYO」にて、同社の取締役を務める九州大学の馬奈木俊介主幹教授と共同会見を実施しました。会見には九州大学の藤野武彦名誉教授と株式会社バクトルの大北潤氏にも登壇していただきました。

会見の中で、藤善匡社長(兼福岡銀行執行役員)から、今後の展開として、①連携・提携先を拡充していくこと、②個別企業のプロジェクト単位で取り組みの評価を行っていくこと、③SDGs企業評価のスコアリングモデルの開発を行っていくことを説明し、馬奈木俊介主幹教授から、これまで取り組んだ事例を紹介しました。

同社はSDGs取り組みを適切に評価し、定量化・見える化することで地域企業に「サステナブル」SDGsの意義、有用性を広め経営レベルでの実践を促し、持続的成長が可能な地域企業や地域社会を実現する一助になることを目指していきます。



会見に登壇した右から藤善社長、馬奈木主幹教授、藤野名誉教授、会見で会社の概要を説明する藤善社長バクトル大北氏

株式会社サステナブルスケール

本社所在地：福岡市中央区天神二丁目13番1号

代表者名：藤善 匡

事業内容：SDGsの普及、評価・分析、コンサルティング



FFGのサステナビリティ活動

～リテール分野での新商品～

FFGでは「地域経済発展への貢献」と「FFG企業価値の向上」を軸とした、サステナビリティ方針としてSDGsの取り組み方針を明文化するとともに、優先課題として取り組むべき「SDGs重点項目」を設定いたしました。人生100年時代と言われる今、資産の寿命を延ばすため長期的な資産形成が大切になっています。

また近年、ダイバーシティに対する社会の関心が高まっており、誰もが自分らしく、安心して生きることができる社会を目指す動きが加速しています。

FFGでは、サステナブル(持続可能)な社会の創出を目指して、お客様とSDGsに取り組む企業や団体との接点を持つ機会を提供する手段として寄付型の「FFG SDGs外貨定期預金(米ドル)」やESG投資の投資信託(愛称GGO)の取り扱いを新たに開始しました。また生き方の多様化や住みやすい街づくりの一助として、「LGBTに対応した住宅ローン」を導入しています。

FFGでは、お客様一人ひとりのライフプランをサポートする幅広い商品ライン

FFGのサステナビリティ商品～みんなのお金で未来をつくる～

【外貨定期】 FFG SDGs外貨定期預金(米ドル)【2021年7月1日～2022年3月31日】

概要	外貨定期預金預入時の為替手数料を50%優遇(1円→0.5円)し全額をSDGsに資する団体へ寄付 【寄付先】○独立行政法人 国際協力機構(JICA) ○特定非営利活動法人 国際連合世界食糧計画WFP協会 ○公益財団法人日本財団 災害復興支援特別基金 ○日本赤十字社 ○公益財団法人 日本ユニセフ協会 ○福岡県、熊本県、長崎県(新型コロナウイルス対策や災害復興等、持続的発展に資する施策へ寄付) ※寄付先は取扱開始時点のものであり、変更する場合があります。
SDGs重点項目	○地域経済の健全な成長 ○産業発展と金融イノベーション ○少子高齢化への対応 ○環境への配慮 ○豊かな地域社会の実現 ○新しい働き方の推進 ○ガバナンス強化

【投資信託】 アライアンス・バーンスタイン・グローバル・グロース・オポチュニティーズ(愛称:GGO)【2021年6月25日 取扱開始】

概要	SDGsの達成に貢献する銘柄に投資するアクティブファンド「環境」「社会」「企業統治」のESGの観点から踏まえて企業を評価し、銘柄を選定
SDGs重点項目	○産業発展と金融イノベーション ○環境への配慮 ○豊かな地域社会の実現

【住宅ローン】 LGBTに対応した住宅ローン【2021年8月2日～取扱開始】

概要	原則として親子や法律婚の夫婦など親族しか認められなかった住宅ローンの連帯債務者・連帯保証人に同性パートナーを追加
SDGs重点項目	○地域経済の健全な成長 ○豊かな地域社会の実現

アップを取り揃えています。今後もお客様から選ばれ続けるFFGであるために、ブランドスローガンである「あなたのいち

ばんに。」を掲げ、お客様のサステナビリティに貢献できる商品開発に積極的に取り組んでまいります。